

気化式冷風機

RKF303・403・503・5032

取扱説明書

このたびはシズオカの冷風機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。



- お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、製品を正しくお使いください。
- 取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に大切に保管してください。

もくじ

まえがき	1	7. 故障・異常時の処置	6
1. 特に注意していただきたいこと	1	8. 仕様	7
2. 各部のなまえ	2	9. 安全ラベルの一覧	7
3. 初めてお使いになる方へ	2	10. 保管	7
4. 使用方法	4	11. アフターサービス	8
5. 点検方法	5	12. 別売部品	8
6. 定期点検	6		

まえがき

◆この取扱説明書には、この製品を安全に、正しくお使いいただくため、必ずお守りいただきたい注意事項が表示されています。その注意事項は△**危険**、△**警告**、△**注意**に区分されています。表示内容をよくご理解いただき本文をお読みください。

△ 危険 この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、又は火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表示しています。

△ 警告 この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、又は火災の可能性が想定される内容を表示しています。

△ 注意 この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

※「△ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

1 特に注意していただきたいこと

安全のため、必ずお守りください。

* 下記の項目は、この製品をお使いいただく上での重要な安全事項が書かれています。ご使用前に必ずお読みください。

△ 危険

アースは必ず取り付けてください。

- 感電防止のため、アースは必ず取り付けてご使用ください。また、漏電ブレーカを設置したコンセントを使用してください。
- アース線は、ガス管、水道管、避雷針用アース線、または電話のアース線に接続しないでください。
- アースが不完全な場合は、感電のおそれがあります。アース線は、アース接続ねじに確実につないでください。

△ 警告

1. 水分のかかる場所での使用禁止

雨水、雪などのかかる場所では使用しないでください。また、ぬれた手でスイッチを操作しないでください。感電するおそれがあります。

2. 回転物への接触禁止

吹出口や吸込み口に指や棒などを絶対に入れないでください。回転部に触れて、けがをするおそれがあります。

3. 改造使用の禁止

改造して使用しないでください。故障や火災等の原因になり危険です。

△ 注意

1. 換気必要

換気設備の十分な空間でお使いください。締め切った狭い空間では、湿度が過度に上昇することがあり、冷却効果は得られず、周辺の機械器具に湿気による錆などを発生させる可能性があります。強制換気と併用すれば、より効果があります。

2. 吸込み側の空間確保

本体の吸込み側は十分に空間をとってください。(50cm以上) 吸込み側を壁面その他の障害物に近づけすぎると風量不足となり、性能低下のおそれがあります。

3. 傾斜設置での使用禁止

本体は水平に保ってください。5度以上傾けると、水が漏れるおそれがあります。

4. 自動給水時の配管接続をする場合

給水配管接続は確実にこなってください。接続に不備があると、漏電または、周囲をぬらす原因となります。設置場所は、万一に備え、なるべく漏水の被害を受けにくい場所を選んでください。

5. 水道水以外の使用禁止

水道水をご利用ください。井戸水、工業用水を使用すると臭気発生の原因となります。

特に注意していただきたいこと

6. 残留水の放置禁止

週に一度、運転終了時には必ず残留水を排出してください。タンク内の水をそのまま放置すると、腐敗や微生物増殖などにより、臭気発生の原因となります。

7. 異常時使用禁止

異常を感じたとき(異音、漏水、焦げ臭い等)は、すぐに運転を停止してください。異常のまま運転し続けると、重大な故障、感電、火災の原因となります。

8. 運転中移動禁止

運転中は本体を動かさないでください。循環水がタンクからこぼれ、床面をぬらすおそれがあります。

9. 電源コード破損注意

電源コードは、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工しないでください。また、電源コードの上に重いものを載せないでください。コードが破損して、火災や感電の原因になります。

10. 電気部品への水掛け禁止

電気部品に水をかけないでください。給水する時や冷却エレメントなどの掃除などのとき、電気部品に水がかからないようにご注意ください。電気部品の絶縁が劣化し、感電の原因となることがあります。

11. 前方設置品の防錆注意

吹き出す冷風は湿気を帯びているため、吹出口の前方にはさびやすいものを置かないでください。

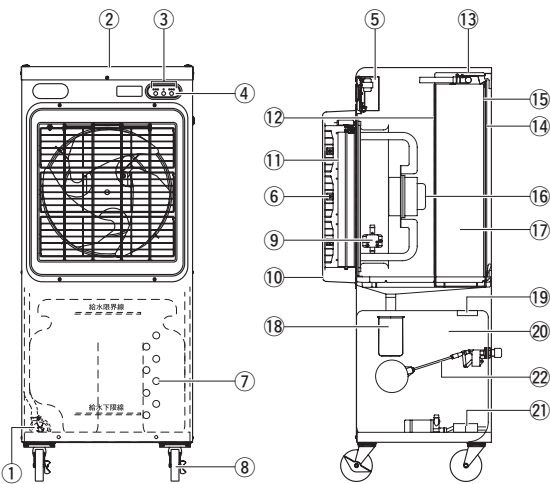
12. 周囲環境の注意

油が浮遊している環境で使用しないでください。循環水に油が混じり使用できなくなるおそれがあります。きれいな外気が入る位置に設置してください。

13. 本体背面を押して移動禁止

タンクが空の状態、本体背面を押して移動しないでください。車輪が障害物でロックして、転倒するおそれがあります。

2 各部のなまえ



- ① ボンプ
- ② 天板
- ③ ランプ
- ④ スイッチ
- ⑤ 基板
- ⑥ 手動風向板
- ⑦ 水位検知窓
- ⑧ キャスタ
- ⑨ フロースイッチ
- ⑩ 吹出口
- ⑪ 自動風向
- ⑫ 吹出側フィルタ RKF303は除く
- ⑬ 散水部
- ⑭ 吸込側フィルタ
- ⑮ スペース
- ⑯ 送風ファン
- ⑰ 冷却エレメント
- ⑱ 水フィルタ
- ⑲ 給水口
- ⑳ タンク
- ㉑ 中間継手 (コック付き)
- ㉒ 自動給水装置 RKF503・5032に付属

安全装置の説明	
過電流保護 (ヒューズ)	電気系統に過電流が流れると電気回路を遮断し、自動的に停止します。 作動状態：全停止します。
水切れ検知 (フロースイッチ)	タンクの水がなくなると、フロースイッチが水切れを検知し、ポンプを停止します。 作動状態：水切れを検知すると、冷風ランプが点滅し、ポンプが停止します。
送風ファンモータ 過熱保護	モータに過電流が流れ過熱すると電気回路を遮断し、自動的に停止します。 作動状態：モータが停止します。冷えると自動的に運転を再開します。

3 初めてお使いになる方へ

3-1. 本体設置

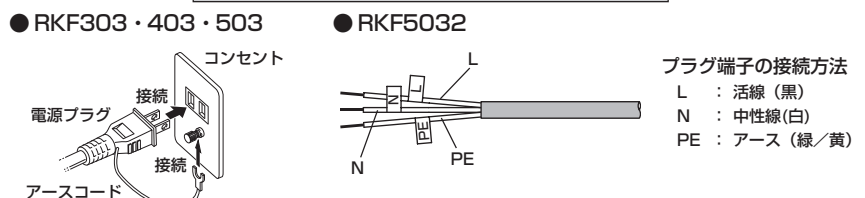
- 据付にあたっては下記の事項に注意して行ってください。

設置後、本体が容易に動かないように固定してください。
 本体には移動用のキャスタがついていますが、運転中はキャスタのストッパをかけてください。

3-2. 電気工事について

- 製品を使用するにあたり電気工事・接地工事が必要です。
 - ・ RKF303・403・503 : 100V 電源コード・プラグが付属しています。
 - ・ RKF5032 : 200V 電源コードが付属しています。
コンセントに合う電源プラグを取り付けてください。

プラグ選定基準：250V 15A(引掛形 20A)



電気工事およびD種接地工事の施工には資格が必要です。
 工事の際はお買い上げの販売店に依頼し、ご自分では行わないでください。

3-3. 運転準備.....

★ 開梱 (輸送時の固定用梱包材の取り外し)

1 梱包をあけてから、フィルタの固定用テープを取り外してください。



2 タンクの上にあるタンクの固定用ダンボールを取り外してください。ダンボールを取り外さないと水があふれます。



3-4. 給水工事の方法 RKF503・5032に付属の自動給水装置を使用する場合.....



注意

- 漏水事故防止のため、ユーザー様の責任で、配管の管理をして頂きますようお願いいたします。また、給水側に80kPa程度の減圧弁、ストレーナ、止水栓の取り付けを推奨します。

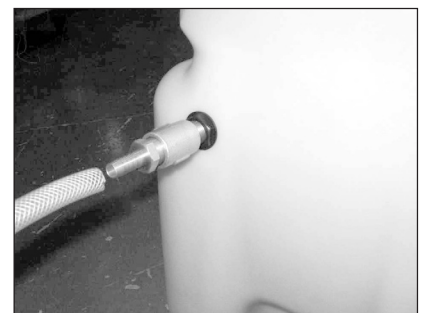
● 自動給水方式でお使いになる場合は、次のような市販の配管材をご用意ください。

- (白)ソケット(1/2B) ● ホースニップル(1/2B) ● ホースバンド ● ホース ● シールテープ

1 キャップを外します。



2 配管材を取り付けます。配管材を取り付けるときは、タンク内部の部品が回らないよう確実に固定してください。取付後、タンク内部の自動給水口が真下を向いていることを確認してください。初回使用時にはボールタップが正常に機能することを確認してください。

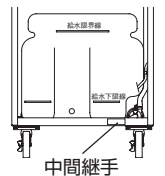


3-5. 給水方法.....



注意

- 給水前に中間継手が確実に繋がっていることを確認してください。
- 補給水は必ず水道水をお使いください。井戸水や工業用水を使用すると、冷却ユニット内で藻や細菌が増殖しやすく、冷却効率が低くなったり、臭気発生の原因となるおそれがあります。
- 給水量に注意してください。給水口から「給水限界線」以下になるように給水してください。「給水限界線」以上になると本体の移動中にタンクから水があふれるおそれがあります。「給水下限界線」以下で始動するとポンプに水が供給されないため、冷風ランプが点滅しポンプが停止します。



● 給水方法には次のようなものがあります。いずれかをお選びください。

ポリタンクで給水します。



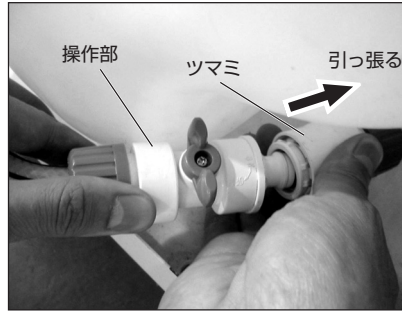
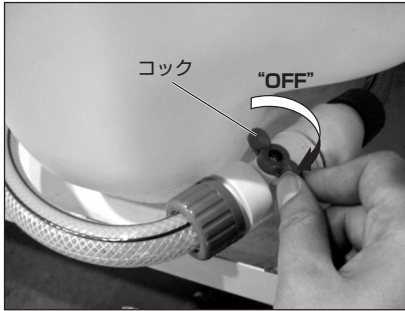
給水ホースで給水します。



3-6. 排水方法

- 1 中間継手のコックを“OFF”にします。
つまみを押しながら、操作部を引いて外します。
コックを“ON”にすると水が出ます。

- 2 排水後の接続は、「カチッ」と音がするまで確実に挿入し、中間継手のコックを“ON”にしてください。



4 使用方法

初めてお使いになる場合は、冷却エレメントの臭いがすることがありますが、2～3日でなくなります。最初の運転時にはタンク内の循環水の汚れがあるため、タンク内の残水は全て排水してください。また、その後もタンクの水は、必ず週に一度は排水してタンク内を掃除してください。

■ 使用時の注意事項

★運転前チェック（電源を切った状態でチェックしてください）

- 本体が水平で、キャストのストッパが固定されていますか？
- 電源コンセントとアースの接続は確実におこなわれていますか？
- 本体または給排水管から水漏れがありませんか？

★換気を十分に

- 本体は水を気化して空気を冷やすため、室内の湿度が上昇します。換気の不十分な場所では湿度が過度に上昇し、冷房効果を低下させます。
- 窓や扉は、十分に開け外気が出入りしやすいようにしてください。換気扇など強制換気装置と併用すると効果的です。
- 周辺の湿度があまり高くなりすぎますと、冷房効果が得られなくなります。

★運転時の注意

- 試運転時に給水せずに運転すると、ポンプからキュルキュル音がすることがあります。これを繰り返すとポンプの寿命に影響しますので、すぐに給水してください。
- 初めてタンクに給水する場合は、運転スイッチを押しても冷風ランプが点滅することがあります。この場合は、運転スイッチを押して再運転してください。
- 運転中は、本体を移動させないでください。漏水します。

★運転終了時は排水と乾燥を

- 吸い込み空気中には様々な塵埃が浮遊し、冷却エレメントに付着しますが、これらはエレメントの表面流水により洗い流されますので、タンクの水は雑菌が徐々に増加します。タンクの水は、必ず週に一度は排水してタンク内を掃除してください。
- 自動給水方式で使用の際は、運転終了後給水元の元栓を止めてください。

4-1. 運転の手順

- 1 運転スイッチを1回押すと冷風ランプが点灯し、ファンとポンプが作動します。

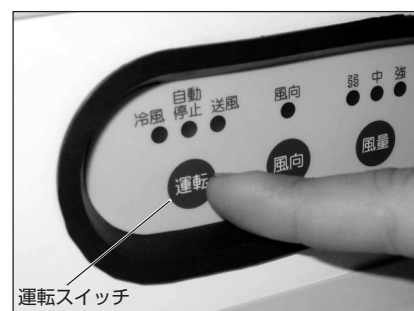
- 2 ポンプ作動とともに、本体上部の散水管からの散水で本体の後側にある冷却エレメントに上部より通水します。タンク内の水がなくなると冷風ランプが点滅します。この場合は給水してください。再運転は、運転スイッチを押してください。

- 3 冷風運転中に運転スイッチを1回押すと、自動停止ランプが点灯してポンプが停止し、約20分でファンが停止します。**冷風運転終了時には、必ず自動停止で終了してください。**

※ エレメントが乾燥しないと、雑菌の増殖により臭いが発生することがあります。

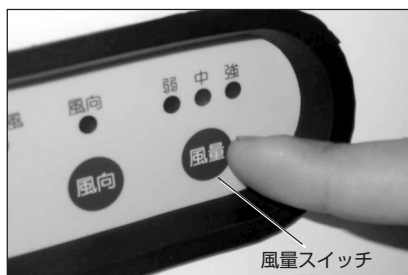
- 4 自動停止ランプの点灯中に、運転スイッチを押すと送風ランプが点灯し、送風運転を開始します。

- 5 送風運転中に運転スイッチを押すと、ファンが強制停止します。



4-2. 風量変更の手順

風量スイッチを押すごとに風量ランプが【強】→【中】→【弱】→【中】→【強】と点灯し、風量が変わります。お好みの風量でお使いください。



4-3. 上下風向変更の手順

手動風向板3枚を上下に動かすことにより、風向が上下に約15度変わります。



4-4. 左右風向変更の手順 **RKF303は除く**

- 1 風向スイッチを1回押すと風向ランプが点灯し、風向板が左右に動いて、風向が変わります。
- 2 風向スイッチをさらに1回押すと風向ランプが消灯し、風向板が停止します。



5 点検方法



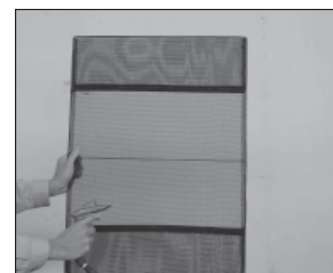
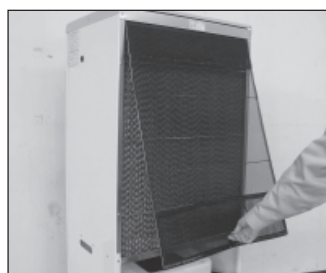
注意

● 点検、清掃作業の前に電源プラグを抜いてください。感電のおそれがあります。

● 内部電気部品には水をかけないでください。感電のおそれがあります。

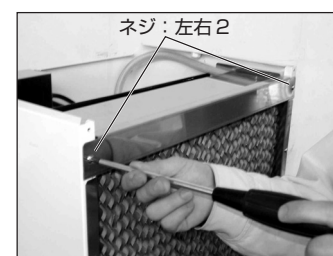
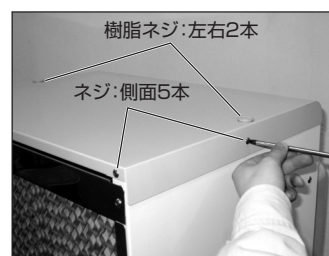
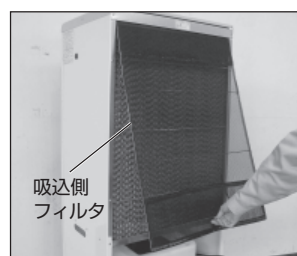
5-1. 吸込側フィルタの掃除 (汚れが目立つようになった時、実施してください)

- 1 フィルタを手前に引き抜いて、エアブローします。(エアガンがない場合は、ブラシを使用してください。)
- 2 汚れがひどい場合は、中性洗剤などで洗浄します。汚れが取れない場合は、交換してください。
- 3 吸込側フィルタを元の位置に確実に取り付けてください。



5-2. 冷却エレメント・吹出側フィルタの掃除 (汚れが目立つようになった時、実施してください)

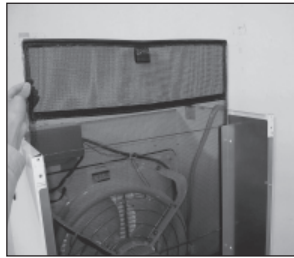
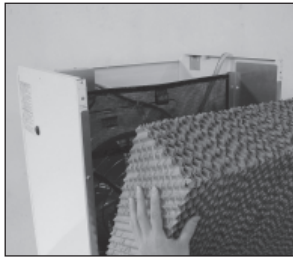
- 1 吸込側フィルタを手前に引き抜きます。
- 2 スペーサをたわませながら引き抜きます。
- 3 ⊕ドライバでネジ(5本), ⊖ドライバで樹脂ネジ(2本)を外して、天板を外します。
- 4 ⊕ドライバでネジ(2本)を外して、散水部を外します。
※ホースを外す必要はありません。



5 冷却エレメントの上部を手前に倒して、斜め上に取り外します。

エレメントは、壊れやすいので、充分に注意してください。

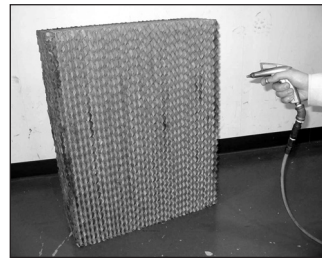
吹出側フィルタも上に引き抜きます。 RKF303は除く



6 外したフィルタ・エレメントをエアブローします。

(エアガンがない場合は、ブラシを使用してください。)

(フィルタの掃除は、5-1を参照)



7 汚れがひどい場合は、中性洗剤などで洗浄します。汚れが取れない場合は、交換してください。

8 各々を元の位置に、確実に取り付けてください。

5-3. タンク及び水フィルタの掃除 (毎週1回は、実施してください)

1 タンク内の水を抜き、タンクを少し上方に浮かせて手前に引き出します。



2 タンクや水フィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤などで洗浄します。



3 タンクを元の位置に確実に取り付けてください。この時、タンク下部のホースが折れないよう注意してください。ホースが折れると、循環水量が減り、冷却性能が低下するおそれがあります。

6 定期点検

- 定期的な保守、点検は長時間効率良く快適にご利用いただくために是非とも必要です。吸込側フィルタや冷却エレメントの汚れ状況を見ながら適宜おこなってください。早めに洗浄すれば汚れは簡単に取り除け、冷却効果も維持されます。
- 少なくとも、シーズンの始めと終わりには必ず実施してください。

7 故障・異常時の処置

下表の処置方法が「販売店に連絡」の場合、または、処置方法に従って処置しても具合の悪い場合は、お買い求めの販売店、または、最寄りの弊社営業所(巻末参照)へお知らせください。その際に、製品の異常の状態と製品の型式名、製造番号をお知らせください。

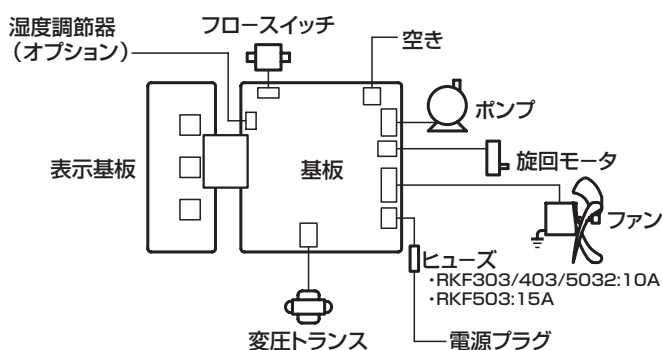
現象	原因	処置方法
● 開梱時および運転初期に臭いがする	● 冷却エレメントの初期の臭い	● 2~3日使用しても臭いが消えない場合は、タンク内の水を入れ替える
● スイッチを入れてもファンやポンプが作動しない	● 主電源が入っていない	● 主電源を入れる
● 風量が少ない	● 吸込側フィルタの目詰まり ● 冷却エレメントの目詰まり ● 吹出側フィルタの目詰まり	● 吸込側フィルタの掃除をする ● 冷却エレメントの掃除をする ● 吹出側フィルタの掃除をする
● 吹出し空気が冷たくならないまたは冷風ランプが点滅	● ポンプ動作不良 ● 水循環経路の目詰まり ● 吸込みホースの折れ ● 中間継手のコックがOFFになっている ● 周辺空気の湿度が高すぎる ・換気不足 ・天候不良で室内外ともに湿度が高い ● タンクの水量が少ない	● 販売店に連絡する ● 販売店に連絡する ● ホースの折れを直す ● 中間継手のコックをONにする ● 窓や扉を開け、充分換気をおこなう ● 給水する 再運転は運転スイッチを押す
● 本体からの水漏れ	● 水フィルタの目詰まり ● ニップルと給水ホースとの締付け不良(自動給水の場合) ● 水循環経路の不良 ・部品の締付け不良 ・部品の破損	● 水フィルタの掃除 ● 漏水部の接続をやり直す ● 漏水部の接続をやり直す ● 販売店に連絡する
● 振動や騒音の発生	● 本体が水平に保たれていない ● ファンまたはファンまわりの不良	● 本体を水平にする ● 販売店に連絡する
● 冷風に不快な臭いがする	● 循環水や循環経路に雑菌が繁殖している ● 冷却エレメントに黒カビなどの汚れが目立つ	● タンク及び水フィルタの掃除をおこない、新しい水道水に入れ替える ● 冷却エレメントを交換する

8 仕様

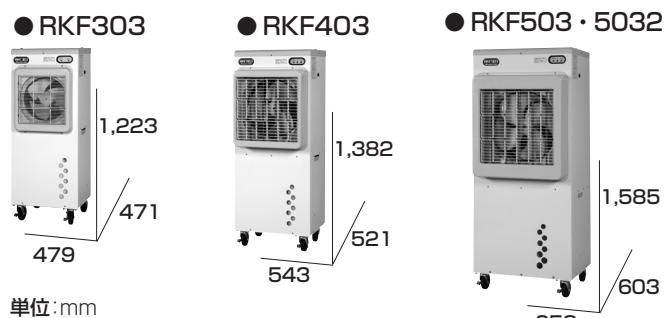
型 式	RKF303	RKF403	RKF503	RKF5032
冷房能力(kW) ※1	2.7/3.0	3.8/4.3	8.2/9.3	8.2/9.3
電 源	単相100V	単相100V	単相100V	単相200V
消費電力(50/60Hz)(W)	75/100	190/245	390/520	380/500
吹出方向	上下手動風向	上下手動風向 左右自動風向	上下手動風向 左右自動風向	上下手動風向 左右自動風向
風量(50/60Hz)(m³/min)	21/22(最大)	37/42(最大)	71/80(最大)	65/71(最大)
水蒸発量(50/60Hz)(L/h) ※1	4/4.5	5.3/6.0	11.2/13.3	11.2/13.3
有効貯水量(L)	36	50	50	50
連続使用時間(h) ※1	9/8	9.4/8.3	4.4/3.7 連続	4.4/3.7 連続
給水方式	タンク貯水式	タンク貯水式	タンク貯水式 自動給水式 ※2	タンク貯水式 自動給水式 ※2
安全装置	過負荷保護・水切れ検知 モータ過熱保護	過負荷保護・水切れ検知 モータ過熱保護	過負荷保護・水切れ検知 モータ過熱保護	過負荷保護・水切れ検知 モータ過熱保護
運転音 [dB(A)]	51/54	59/62	70/74	67/72
外形寸法(高さ×幅×奥行 mm)	1,223×479×471	1,382×543×521	1,585×658×603	1,585×658×603
質 量(kg)	38	46	75	76
ファン径(mm)	300	400	450	450

※使用温度：5℃～45℃ ※1:上記仕様は、入口空気条件が30℃・相対湿度50%・強風量のもの。 ※2:給水最大許容圧力は、0.75MPa以下のこと。

■ 配線図



■ 外形寸法図



9 安全ラベルの一覧

安全ラベルは、製品を安全にお使いになるために重要なものです。はがしたり、汚したりしないでください。ラベルの文字が消えたり、読みにくくなった場合は、販売店に注文して貼りかえてください。

乾燥注意ラベル

冷風運転終了時には、自動停止で終了してください。冷却エレメントが乾燥しないと、臭いが発生することがあります。

転倒注意ラベル

タンクが空の状態では、こちら側を押して移動しないでください。車輪が障害物でロックして、転倒するおそれがあります。

取扱注意ラベル

注意

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

- 吹出口に指や棒などを絶対に入れないでください。
- 雨水、雪などのかかる場所では使用しないでください。
- 冷風運転終了時には、必ず自動停止で終了してください。自動停止で冷却エレメントが乾燥しない、微生物増殖により、臭気発生のおそれがあります。
- 1週間1度は、タンクを引き出して必ず全ての残留水を排水してください。タンク内の水を放置すると、腐敗や微生物増殖などにより、臭気発生のおそれがあります。
- 必ず水道水をご利用ください。井戸水や工業用水を使用すると臭気発生のおそれがあります。
- 換気扇を十分におこなえる場所でお使いください。閉め切った狭い場所では、湿度が温度に上昇するおそれがあります。
- 本体の吸込み側は50cm以上空間をとってください。空間が少ないと過負荷の原因となり、故障するおそれがあります。
- 本体は必ず水平な場所に設置してください。傾きが5度以上になると漏水の原因となるおそれがあります。

運転の手順

・タンクの給水口から給水します。

・運転スイッチを1回押すと冷風ランプが点灯し、冷風運転を開始します。さらに1回押すと自動停止ランプが点灯し、ポンプが停止し、約20分でファンが停止します。

・自動停止ランプの点灯中に、運転スイッチを押すと送風ランプが点灯し、送風運転を開始します。

・送風運転中に運転スイッチを押すとファンが強制停止します。水切れの場合は冷風ランプが点滅し、ポンプが停止し、ファンのみ運転しています。

・風向スイッチを1回押すと風向ランプが点灯し、風向が左右に変わります。さらに1回押すと風向が一定方向となります。

・冷風運転中に風量スイッチを押すと強中弱の各ランプが点灯し、風量が変わります。お好みの風量で運転してください。

10 保 管

長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は、次のような手入れをして保管してください。

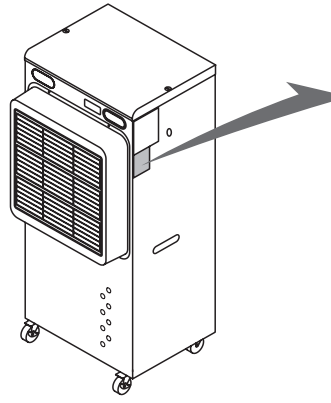
- 注意**

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持っておこなってください。感電やショートして発火することがあります。
- タンク内に水が残っている場合は、タンクを引き出して水を完全に排水します。
 - 冷却エレメントが乾燥していない場合は、送風運転により、冷却エレメントを乾燥させます。
 - 冷却エレメントが充分乾いてから、運転スイッチを押して運転を停止します。
 - 電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
 - 中間継手を接続します。中間継手内の水を十分に抜かないと、冬期の凍結により、破損する場合があります。
 - タンクなどの汚れは、中性洗剤でふき取ってください。
 - 保管は屋内で、湿気の少ない場所にしてください。


11 アフターサービス

- 修理サービスを依頼される前に「故障・異常時の処置」をご覧ください、もう一度ご確認ください。
それでも異常のある場合は、お買い求めの販売店または、最寄りの弊社営業所(下記参照)にご相談ください。
なお、ご相談の際には、製品の異常の状態と製品の型式名、お使いの製品の製造番号をお知らせください。
製造番号は、製品の側面に貼付してある「仕様・配線図ラベル」にしています。(右図参照)
- この製品には、1年間の無償修理保証書が付いておりますので、大切に保管してください。
なお、保証期間内に修理を依頼される場合は、保証書を添えてください。
- 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。
(1) キャスタ・フィルタ・冷却エレメント・水フィルタ、以上の消耗品
(2) 誤使用による故障
例) 電源200V使用による電気部品の焼損(100V仕様の場合)
(3) 火災・浸水・落雷などの災害によるもの
(4) 腐食性ガスの発生する場所で使用した場合の部品の腐食
例) 畜舎などアンモニアガス等の発生する場所
(5) その他、取扱説明書に記載してある以外の使い方による故障

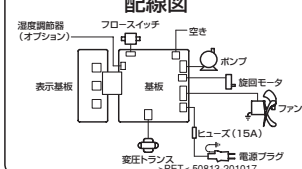
- 無償修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有償修理いたします。販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
(1) この期間は経済産業省の指導によるものです。
(2) 性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。



仕様・配線図ラベル

仕様	
品名	気化式冷風機
型式	RKF503
定格電圧	100V
定格消費電力	390/520W
定格周波数	50/60Hz
給水最大許容圧力	0.75MPa
製造番号	
 静岡製機株式会社	

配線図



12 別売部品

■ **湿度コントローラ (型式:50805-105001)**
30~80%の間で調整できます。

■ **自動給水ボールタップ (型式:50812-150601)**
RKF303, 403に適応。
(タンクにφ22の穴をあける必要があります。)

製品保証書

型式	RKF	製造番号	-
住所	<input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/>		
フリガナ			
ご芳名	様		
保証期間	平成 年 月 日から 1年間		
販売店名	Ⓜ		
	電話 (-)		

下記の通り保証いたします。

- (1) 「正常な使用状態」において生じた、製造上の責任による故障又は損傷につきましては、納入後「1年間無償修理」いたします。
- (2) 次の場合は、保証期間中でも「有償修理」といたします。
(イ) 誤ってご使用になった場合の故障又は損傷
(ロ) 納入後、改造等によって生じた故障又は損傷
(ハ) 火災、地震、台風等の天災による故障又は損傷
(ニ) 保証書のご提示がない場合
(ホ) その他上記に準ずるもの
- (3) 本機の保証は日本国内で使用される場合に限りです。

This warranty is valid only in Japan.

静岡製機株式会社



- 製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

- ご購入された製品や弊社のサービス全般についてのご提案・ご意見・ご要望は、下記までご連絡ください。

静岡製機株式会社

- 北海道営業所 〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号
TEL(011)782-5294(代) FAX(011)782-8258
- 東北営業所 〒989-6135 宮城県大崎市古川稲葉字亀ノ子50-1
TEL(0229)23-7219(代) FAX(0229)21-1464
- 関東営業所 〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1
TEL(0297)73-0658(代) FAX(0297)71-3080
- 中部営業所 〒437-0023 静岡県袋井市高尾2620-1
TEL(0538)42-3222(代) FAX(0538)42-3206
- 関西営業所 〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10番8号
TEL(06)6432-7880(代) FAX(06)6432-7487

静岡製機株式会社 お客様提案窓口

- フリーダイヤル : 0120-702-118
(携帯電話・PHSは不可)
- 一般電話 : 0538-23-3305
- FAX : 0538-23-2674